

平成25年2月3日の定期保守作業

新年一発目の保守作業は芦屋町のD60 61号機からスタート！
 ということは・・・今年12月で『150回』の節目を迎えるという事になります。
 2009年7月に『100回』をクリアしてから約4年。地道な活動は着実に足跡を残しています。
 因みに「直方いこいの村」のD51形225号機は『76回目』の作業でした(あと2年で『100回』！)。

作業内容(対象)	活動の様子(写真)	コメントなど
		<p>まずは正月用の「注連飾り」を外します。 そういえば、昔は自動車の鼻先に注連飾りを付けて走る姿が多く見られましたが、最近は殆ど見なくなりましたね。</p>
		<p>油分を含ませたウエス(布)で車体を磨きあげます。</p>
<p>①9600形 59647号機</p>		<p>作業している足元に転がる部品類は現在修復中のC11 260 (中間市・垣生公園)用のものです。取り外せるものはここで修理したりもしています。</p>
		<p>こちらの方は防寒対策(?)で「耳あて」をされています。 確か30年くらい前でしょうか、ヘッドホン型の「耳あて」が流行ったと思います。周りがみ〜んなコレを付けていて、ね。 因みに、最近はニット帽と一体化したものが女性に人気だそうですが、男性には受けが悪いんだとか。</p>

作業内容(対象)	活動の様子(写真)	コメントなど
		<p>こちらの注連飾りも外してあげます。</p>
<p>②C61形 61号機</p>		<p>屋外保管で、しかも後ろが雑木林という状況なので、落ち葉などがかなり溜まっていたようです。シュロほうきで綺麗に掃き出しました。 雑木の間から光がさして、ちょっと芸術的(?)な写真になっているような、いないような・・・</p>
		<p>落ち葉を掃き出したあとは、車体を綺麗に磨き出し。煙室扉の表面がピカピカに光っているでしょう！</p>
<p>③D51形 225号機</p>		<p>「あ、鳥だ」「いや飛行機だ」・・・冗談はさておき、皆が見つめる、その先には・・・</p>

作業内容(対象)	活動の様子(写真)	コメントなど
<p>③D51形 225号機</p>		<p>近くの木を”剪定”していました(赤い枠内に注目)。 梯子の下は、他のメンバーがちゃんと支えています。</p>
		<p>大がかりな修復を行ってから6年以上の年月が経ち、定期的に保守を行っているとはいえ、各部に傷みが出てきています。放っておくと更に悪化して、後の修理が大変になる為、傷口が小さいうちに補修を行っています。</p>